

平成30年度静岡市協働パイロット事業 企画提案書

団体名：NPO 法人アートコネクトしずおか

1 事業のタイトル

学生×デザイナー×障がい者就労継続支援B型事業所 授産品販売促進支援プロジェクト

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください。)

就労継続支援B型事業所の製品をデザイン、マーケティング等の側面から売上を上げるための支援を行い、更に未来を担う若者を積極登用することで、若者の障がい者雇用や現状の認識、障害者支援に対する意識を高め、今後の協働を目指すきっかけをつくる事業を提案致します。

静岡市には多くの障がい者を受け入れる事業所がありますが、それぞれの事業所の特性を活かしたアート活動や利用者(障がい者)が精魂こめて作った授産品の販売においては、趣向を凝らした良いものを制作・生産しているにも関わらず一般市民の認知度が低く、アートの活かし方やパッケージデザイン・販売方法等にも課題が残ることから売上の向上に結びつかず、あえいでいる事業所が多いのが現状です。

そして一般市民(若者)の、そうした活動を担っている施設や現状の認知や意識が低いこともひとつの要因であると考えられます。

そこで、事業所の特性を活かせるよう事業所の良い部分を発掘し、販売促進に繋がる商品化やその販売に伴うパッケージ等のデザイン的なサポートやマーケティング方法を学生とプロのデザイナーがタッグを組み、事業所の持つ強みを活かしたブランディングを行い、障がい者の生み出す商品やアートをサポートし、売上アップを支援する活動を展開いたしたいと考えております。

デザインやアートを学ぶ若者(大学生、専門学校生、高校生など)を巻き込み、このような社会的課題と一緒に体験・解決することで、彼らの未来への活動へのきっかけを作る場としても有効に活用し、そして学生のアート・デザイン教育の実践的な場としても活用したいと考えています。

こうした障がい者の事業所の実態を知らない市民・若者が多い中、少しでも多くの人々に理解と協力、賛同を呼びかけ、障がい者と障がい者を取り巻く環境とそれを応援し活動する団体への意識を高めるきっかけを作ることで、今後の活動へつなげられると思われれます。

この活動は単発で終わらせて問題を解決できるようなものではなく、地道ではあっても長くそして後進に受け継ぎ活動が継続される仕組みができることが最善と考え、いずれはこのような実績を元に行政機関のみならず、地元の企業や教育機関と共に歩んでいける事業となることが最大の成果だと考えます。

市は静岡に数ある B 型事業所（授産施設）の情報の把握に優れ、管轄する担当所轄との連携により迅速な告知・伝達や情報収集を行うことが可能です。そうした情報伝達及び収集力を活かして当事業と協働することで、授産製品の開発や、売上げ向上にあえぐ事業所への的確にアプローチし、成果をあげることが期待でき、又本パイロット事業終了後も本協働実績を元に静岡の企業、団体（個人含）に本事業継続の呼び掛けをするためのステップとして大きく前進できることが期待できます。

この事業の実施により、障がい者と障がい者を支援する多くの事業所の存在、存在意義、そして活動を広く市民に伝え、影になっていたこのような社会の事象を認識することで市民の意識が広がることを期待できます。

市民の意識が広がることで、障がいの有無に関わらず社会や日常生活の中でお互いの理解を深め、協力共存しそして協働することが可能になると期待しています。

そして何より未来を担う若者を、早い段階でこうした企画に参加させることにより、次世代の担い手を発掘し育てるきっかけとなります。実際に障がい者施設を訪れ、話をしながら彼らの悩みや相談を解決するプロセスは、若者の中に社会の問題認識と意識・行動の芽生えとなると期待されます。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

【アートコネクトしずおかの担う役割】

・多くのデザイナー・クリエイター・講師教員が会員として所属する法人です。アートや生産授産品の販売促進の提言（アート活用、パッケージ・販促ツールの開発）をすることは専門の分野となります。

● 商品パッケージデザイン制作、販促ツール等の開発と提言
・講師・教員をしている会員が所属していることもあり、大学・専門学校・高等学校への学生募集やアプローチ、学生指導と対話は実績があります。

・また B 型事業所とのデザインアドバイスや商品化、アイデア提言等の実績もすでに持ち合わせていますので B 型事業所の状況等は把握しやすい利点があります。

- アートやデザインを学ぶ学生の募集と共同作業の意義説明と実行・指導
- プロデザイナーと事業所施設関係者、障がい者と学生とのマッチング
- 障がい者アーティストや特性を持つ人材の発掘

【静岡市に担って欲しい役割】

- 静岡の障がい者施設への企画の一斉告知と募集
- 障がい者施設の情報の把握と提示
- 対象事業所の選定・マッチング
- 販売先となり得る店舗や施設関係者のマッチング
- 市の機関を利用した情報発信時の伝達と告知

4 事業計画・実施スケジュール

次の事業を下記のスケジュールで実施予定

- (1) 事前打ち合わせ・企画会議の実施
- (2) B型事業所へ本企画周知～募集
- (3) 学生の募集（大学生、専門学校生、高校生など1回3名）と対象事業所の選定（3事業所）
- (4) B型事業所販売促進支援活動の実施（全3回予定）
- (5) 実施報告会の開催
- (6) 業務完了報告

平成30年6月下旬 委託契約締結

7月中旬 市とアートコネクトしずおか担当者と事前打ち合わせ

7月下旬 参加希望B型事業所募集開始（募集期間2週間程度を予定）

8月中旬 参加B型事業所決定（3事業所）

下旬 決定事業所とのオリエンテーション（市＋事業所＋アートコネクトしずおか）

9月上旬 参加学生募集と選定（1事業所3名×3事業所 最大9名選定（重複可能））

中旬 参加学生とのオリエンテーション（学生＋アートコネクトしずおか＋市）

10月上旬 第1回B型事業所デザイン販促支援実施

10月中旬 実施報告作成と成果物（デザイン等）発表・事業所へプレゼンまたは納品

11月上旬 第2回B型事業所デザイン販促支援実施

11月中旬 実施報告作成と成果物（デザイン等）発表・事業所へプレゼンまたは納品

平成31年1月下旬 第3回B型事業所デザイン販促支援実施

2月上旬 実施報告作成と成果物（デザイン等）発表・事業所へプレゼンまたは納品

2月中旬 実施報告会の開催（市＋事業所＋学生＋アートコネクトしずおか）

2月下旬 業務完了の報告

団体名：NPO 法人アートコネクトしずおか

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

	担当業務	氏名	団体内の役職	備考
	全体の統括・事業 運営	遠藤次朗	理事長	グラフィックデザイナー。 デザイン学校講師、 アート展示企画者、ギャ ラリー運営者、障がい者 アートプロデューサー
	運営	藤江道昌	副理事長	学校法人藤江学園理事 長、藤江ビルオーナー、 建築設計事務所経営（東 京）
	運営	松尾雪音	会員	デザイナー、イラストレ ーター、学芸員
	運営	吉川秀男	会員	プロダクトデザイナー、 デザイン学校講師、プロ ダクト制作会社経営
	会計	遠藤真智子	ボランティア	会計担当

その他、会員の現代アーティスト、広告デザイナー、アート教員等適宜設定。

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

当 NPO 法人はデザインやクリエイティブ分野の専門家と教員経験者と現役のデザイン学校講師、学芸員が所属する専門性のある団体です。

そしてマーケティング、ブランディングなどの販売促進の要となる支援を行うことができます。

学生指導も現在も職業柄日常的に行っており、各大学、専門学校、高等学校へのアプローチも十分に可能な環境です。

又、ギャラリーを企画運営してきた経緯から、アーティストの発掘や支援も視野に入れた展開が見込めます。

B 型事業所へのデザインや販売アドバイス、支援はすでに経験済みであり実績を持っています（別の NPO 団体の要請による企画に参加）。

故に、B 型事業所の抱える問題はある程度ではありますが把握しており、本事業の重要性を身をもって体験し感じています。

本事業の施行により、B 型事業所の授産品（障がい者個人のアート性等の特性を含む）のデザイン性が上がり、売上げが上がることによって工賃の上昇が見込め、障がい者の自立を促すことが期待できます。

障がい者と支援する施設そのもののブランド化が進めば障がい者本人を含む事業所のイメージアップが見込め、市民の認知の向上と事業所への理解と協力が高まることが期待できます。

障がい者の特性を活かした事業の発掘で障がい者本人と事業所が生きがいや喜びを持って自立した活動を見出すことができます。

市民はもちろん、これからを担う若者の障がい者環境に対する認識と発見、意識の向上と育成が期待できます。

障がい者と静岡の企業の協働へと繋がるきっかけとして今後も活動を続けていけるように努力したいと考えています。

協働パイロット事業 (H30) 見積書

団体名：NPO 法人アートコネクトしずおか

企画のタイトル：

学生×デザイナー×障がい者就労継続支援 B 型事業所

授産品販売促進支援プロジェクト

項 目	金 額	説 明
運営費 (3事業所)	384,000	プロデザイナー謝金 30,000 円 交通費 1,500 円 運営指導スタッフ謝金 25,000 円 交通費 1,500 円 学生謝金 3 人分 10,000 円×3 回=30,000 (交通費含) 提案制作費 30,000 円 プレゼン・報告会準備費 10,000 円 1 事業所ワークショップ約 2~3 時間 合計 128,000 円 3 事業所分 384,000 円
小 計 A	384,800	
消費税 B = A × 0.08		
合 計 A + B	384,000	

◎実費弁償契約の希望の有無 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金 額	主な使途
なし	0	